

学習指導案（略案）

7月4日(月)6校時

道徳科

単元名「ふろしき」

指導者 長谷川 洋

【本時のねらい】 ・「ふろしき」の良さを知ったことをきっかけに、SDGsの視点で、日本の伝統文化を生かしていく方法を考える【国や郷土の良いところ】

【本時の指導】（1／1時間目）

	学習内容など	指導上の留意点
事前	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝読書の時間に本文を読んでおく。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 全員が読んでいるかを確認める。
5 導 分 入	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ふろしき」でどんな出来事があったのかを確認める。(5分) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 時間短縮のため、指導者からの一方的な確認でよい。
展 開 ー 5 分	<p>【学習問題】日本の伝統文化を「SDGsの視点」から、どのように生かしていけばよいだろうか？</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ● ベン図に「伝統」「現代」を比較できるもので埋めていく。(5分) ● 各自が考えたものを発表する。(10分) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 「伝統」と「現代」という視点で比較できるものを考えさせる。 □ 子どもから出た考えを黒板のベン図に書きこんでいく。 <div style="text-align: center;"> <p>The diagram shows two overlapping circles: '伝統' (Tradition) on the left and '現代' (Modern) on the right. The intersection is labeled 'SDGsの視点' (SDGs perspective). Inside the intersection, there are four red text boxes: '天然素材の物' (Natural material objects), '繰り返し使えるもの' (Reusable items), '電気を使わないもの' (Items that don't use electricity), and '分解されるもの' (Items that can be decomposed). Various items are listed in each circle: Tradition includes 小笠原流礼法, 打ち水, 和食, 着物, 下駄, 伝書バト, ぞうり, そろばん, ふろしき, ろうそく, 馬車, 徒歩, 折紙, ひなまつり, ふうりん, すだれ. Modern includes マナー教室, 洋食, 洋服, 靴, パソコン, エアコン, 電車, カバン, スマホ, フォーク, ゲーム, スプーン, 電灯, 自動車, ハロウィン, 飛行機.</p> </div>
展 開 ② ー 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGsの視点で、「伝統」を「現代」に生かす方法を考え、発表する。(15分) 	<ul style="list-style-type: none"> □ SDGsガイドブックを配布する。 □ ベン図の重なり合った部分に記入する。 □ 具体的なもの（こと）でなくても「天然素材の物」のような書き方でもよい。
終 末 ー 0 分	<ul style="list-style-type: none"> □ 学習感想を書く。(10分) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 「私の考えた伝統文化の生かし方」を、書かせる。 □ 今回考えたことを「みどりの小道」環境日記に書いてもよい。

【本時の評価】・自分なりの「伝統文化の生かし方」を考えることができたか。